

令和2年度生徒指導集中対策，生徒指導実践指定校及び不登校等未然防止推進校

「指定校における取組事例」

学校名	尾道市立向島中央小学校	校長	加登谷 州章	担当者名	脇本 賢一
-----	-------------	----	--------	------	-------

取組事例名 『学校は面白いところ！ ～仲間づくりを充実させて～』

生徒指導に係る連携体制の確立	カウンセリング・マインドをもった教職員と児童生徒との対話	○	主体的な活動を通した絆づくり
----------------	------------------------------	---	----------------

取組における育てたい資質・能力

「気付く力」・・・友達の頑張りやよさを見つけることができる。
 「挑戦する力」・・・物事に対してねばり強く前向きに取り組むことができる。

取組のねらい

異学年による縦割り班活動や清掃活動を通して，友達同士のつながりを大切にする共感的な人間関係形成能力と自分の気持ちをコントロールする自己管理能力を育てる。

取組の具体的内容

取組の創意工夫

【縦割り班について】

- ・1～6年生を32班に分け，13～14人の縦割り班を作る。
- ・縦割り班の名称を「なかよし班」とする。

【縦割り班活動】

- ・各学期に1～2回程度，児童会が中心となり班で一緒に遊ぶ企画・運営をする。
- ・1学期に知り合う，2・3学期に交流を深めるようにする。



【ピカピカクリーン活動・掃除マイスター】

- ・学期に一度，4日間の掃除時間を取り組みの期間として，班と個人を表彰する。
- ・掃除の終わりに，リーダーは班のメンバーを集め，掃除の反省をする。
- ・「無言で・隅々まで」掃除ができていのかどうか，振り返りの視点に沿って教師評価を行い，よく頑張っている班と個人にシールを渡す。



- ・児童会の発案により，縦割り班の名称を親しみやすいものとする。

- ・コロナ禍の制約の中で，校内と運動場を使ってゲームを仕組み，互いの意外な一面を知ることにつながる。

- ・玄関に表を掲示し，見える化を図る。



- ・児童の頑張ろうとする意欲を励ますために，積極的にシールを渡すようにする。
- ・「気付く力」育成のため，シールを渡す際，よいところを声かけする。

取組の成果と課題

○成果としては，指導者の肌感覚としても，昨年度よりも掃除を一生懸命にできる児童が増えたことである。特に，ピカピカクリーン活動・掃除マイスターの取組は，児童の意欲を高めることに効果的だったと思われる。（「挑戦する力」に関わる児童自己評価：7月91.9% 12月89.5%）

○課題としては，班のメンバーのよさに気付いて，互いに認め合うところまではできていないことである。制限もある中なので，縦割り班で遊ぶ機会をあまり多くもてず，遊びの種類等も限定された。また，児童がメンバーの頑張りやよさに目を向けられるように指導者がなかなかできていなかった。来年度は，「気付く力」を育てることを意識した活動や見つけた頑張りやよさを交流する活動を仕組む必要がある。（「気付く力」に関わる児童自己評価：7月82.0% 12月78.4%）